

製品名: UBE2M ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86857**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:100-1:1000
分子量	Calculated MW:21 kDa; Observed MW:21 kDa

抗原情報

遺伝子名	UBE2M
別名	UBC12; hUbc12; UBC-RS2
遺伝子 ID	9040
SwissProt ID	P61081
免疫原	ヒト UBE2M の合成ペプチド

背景

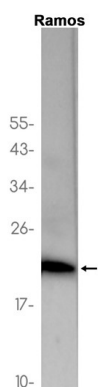
ユビキチンによるタンパク質の修飾は、異常なタンパク質や短寿命タンパク質を分解対象とする重要な細胞機構です。ユビキチン化

には、少なくとも3種類の酵素、すなわちユビキチン活性化酵素 (E1)、ユビキチン結合酵素 (E2)、そしてユビキチンタンパク質リガーゼ (E3) が関与します。この遺伝子は、E2ユビキチン結合酵素ファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、ユビキチン様タンパク質である NEDD8 と結合しており、NEDD8 は Cdc53/culin などの細胞タンパク質と結合することができます。[RefSeq 提供、2008年7月]

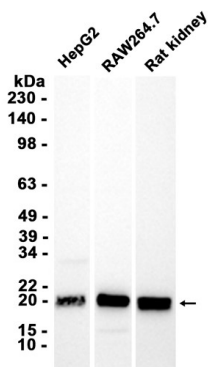
研究分野

-

画像データ



UBE2M ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Ramos 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86857 を 1:5000 で使用して、HepG2、RAW264.7 細胞およびラット腎臓組織からの抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。